

抗战结束后的头几个月里, 本县物价曾一度狂跌。据县商会文件称, 这是因为“一般心理都认为物资从此可以充裕, 物价再不会上涨, 各商店只求存货迅速脱售”。当时黄金每两由十四万元跌至三万五千元, 食米每石由五千元跌至一千二百元, 毛士林蓝布每匹由七千元跌至四千元, 棉花每担由四万元跌至九千元, 菜油每担由二万七千元跌至七千元, 日用百货、纸张也随之下降。可是“诿知收复区物资空虚, 突起抢购, 区区存货, 一售即罄, 货价又扶摇直上”。本县商家经此一跌一涨, 弄得“倒闭者有之, 停业者有之, 倾家荡产者有之”。

1946年以后, 国民党发动全面内战, 全靠滥发钞票来维持军政费用开支, 使物价直线上涨。本县市场上, 每天都注视着黄金、棉纱、大米的行情, 一有风吹草动, 就拚命抢购, 带动其它物价竞相上涨。当年11月比抗战前的物价上涨了七千四百三十五倍。到了1948年9月初, 法币改金圆券前, 大米高达三千八百万元一石, 猪肉一百万元一斤, 鸡蛋六万元一个, 理发一次也要六十万元, 物价平均指数较抗战前高至四百九十多万倍。使用金圆券后, 物价更是飞速上涨。解放前物价情况如以下各表:

表一: 1907年与1932年零售物价对比表

单位: 铜元/枚

品名	对比情况			品名	对比情况		
	1907年	1932年	涨至 %		1907年	1932年	涨至 %
早谷(石)	120.0	705	587	砖(块)	0.3	3.9	1,300
大麦(石)	115.0	1,528	1,328	瓦(块)	0.6	3.9	650
薯类(石)	62.0	500	807	火柴(盒)	0.5	2.0	400
黄豆(石)	300.0	3,113	1,038	煤油(斤)	5.0	56.0	1,120
菜籽(石)	600.0	3,300	550	煤炭(斤)	0.3	3.7	1,233
白糖(斤)	6.1	85	1,393	石膏(斤)	0.4	8.2	2,050
白土布(尺)	2.4	22	930	草纸(刀)	2.0	19.0	950
白细布(尺)	6.0	29	497	黄烟(两)	2.0	40.0	2,000
食盐(斤)	5.0	89	1,766	中等香烟(包)	4.0	24.0	600
石灰(斤)	0.3	4	1,330	肥皂(连)	2.0	24.0	1,200

表二: 1937年——1949年乐平县零售物价变动表

品名	年							
	1937年 6月	1943年 12月	1945年 2月	1946年 11月	1947年 11月	1948年 9月上旬	1948年 9月21日	1949年 4月11日
大米(市斗)	0.500	57.33	310	4,100	40,500	380	1.400	45,000
面粉(斤)	0.080	6.17	31	523	5,800			
猪肉(斤)	0.200	29.00	80	1,600	13,333	100	0.400	16,000
菜油(斤)	0.130	18.00	106	940	10,200	120	0.480	18,000
食盐(斤)	0.150	46.00	137	460	5,533	40	0.130	8,000
鸡蛋(个)		2.50		110	1,300	6	0.025	1,500
白糖(斤)		72.00		3,000	12,333	160	0.540	40,000
酱油(斤)		16.00		480	6,400	64	0.400	10,000